

先導的Rubyソフトウェア 開発支援事業

「新型コロナウイルス感染症の影響に係る特例」に該当する場合には、
補助金の補助率を上げ、企業負担を減らすことができます！

<適用条件> ※交付要綱第17条「新型コロナウイルス感染症の影響に係る特例」抜粋

- ①売上高等が前年または前々年同月と比較して15%以上減少している
- ②その後2か月間を含む3か月間の売上高等が前年または前々年同月期と比較して15%以上減少することが見込まれる

これら2つの条件を満たす企業については、補助率及び補助限度額に関する特例を適用可能です。
詳しくは事務局までご相談ください。

応募締切：6月25日（金）17:00まで

この事業は、Rubyやmrubyを活用して新分野展開や世界市場への展開を目指す福岡県内企業のソフトウェア開発支援を目的とします。（全てRuby、mrubyで開発されている必要はありません）

1 補助対象者

次の条件をすべて満たす企業を含む単独又は複数の企業等

- (1) 法人格を有していること
- (2) 申請時において、県内に事業所を有していること

2 補助対象事業

次のいずれかに該当するものを対象とします。

- (1) これまで使われていなかった新たな分野へのRubyを応用したソフトウェア開発
- (2) 世界各国のクラウドサービス上で展開できるコンテンツデバイス等、当初から世界市場をねらった新規のRubyソフトウェア開発
- (3) mrubyを使った組み込みソフトウェア開発
- (4) Rubyを活用したシェアリングエコノミーに関するソフトウェア開発
- (5) その他 福岡県のRuby・コンテンツ関連企業に大きな波及効果をもたらすソフトウェア開発として認められるもの

3 公募期間

R3/5/12(水)～R3/6/25(金) 17:00 まで

※ 郵送の場合、R3/6/25(金) 必着とします

4 補助対象経費

ソフトウェア開発に要する経費で主に以下の項目に該当するもの

（開発従事者の人件費 / 機械装置(ソフトウェアを含む)費 / 原材料費 / 消耗品費 / 工業所有権出願等の経費等）

5 補助金額等

(1) 補助額

1件あたり400万円程度

※ ただし、新型コロナウイルスの影響に係る特例に該当する場合には、1件あたり600万円程度

※ 補助金の交付決定額は、審査結果によって、申請額よりも減額されることがあります

(2) 補助率

補助対象経費に対して1/2以内

※ ただし、新型コロナウイルスの影響に係る特例に該当する場合には、3/4以内

6 申込書類

下記URLより募集要項をダウンロードの上、必要書類を提出してください。

<http://www.digitalfukuoka.jp/topics/174>